

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

豊後大野「歴史」と「観光」の交流ネットワーク計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県、豊後大野市

3 地域再生計画の区域

豊後大野市の全域及び臼杵市の区域の一部（野津町）

4 地域再生計画の目標

豊後大野市は、大分県の南西部、九州のほぼ中央に位置し、祖母・傾山系の山岳地域と大野川流域の平坦地域からなる、緑豊かな大自然に恵まれた典型的な農山村地域であり、古くから大野川流域石仏文化による、数多くの伝説、仏教遺跡、伝統芸能である「神楽」「獅子舞」「白熊」に代表される伝統文化の保存・継承活動に取り組むことが、定住促進につながり地域の活性化となっている。

また、臼杵市野津町は、豊後大野市と隣接し生活圏を同じくしており、平坦地では水稻・葉たばこ・野菜をはじめ、その周辺部では畜産・養鶏といった多彩な農業が盛んであり、本市とは大野川流域石仏文化による結びつきが深く、臼杵石仏で有名な地域である。

しかしながら、当地域では高齢化が進行するとともに、都市部との生活利便性の格差が原因で、結婚・出産年齢層の流出が進んでおり、このことから担い手の減少による耕作放棄地の増加や森林整備の遅れが進み、農地の荒廃や山林崩壊として現れ問題となっている。

また、人口の流出が伝統文化の保存・継承活動に悪影響を与えており、地域の活力低下が懸念されている。

このような問題を解決するためには、地域住民が暮らしやすく住んでいることに誇りを感じる地域を創造し、定住を促進することが必要である。

そうすることにより、これまで以上に伝統文化の保存・継承活動に取り組むことができる。また、伝統文化を地域の観光資源として有効活用することで観光交流人口の増加を図り、当地域の活性化に繋がりたいと考えている。

以上のことから、道整備交付金を活用し、地域の重要なインフラである市道、広域農道、林道の一体的な整備を行い、市内広域のアクセス及び大分市からのアクセスを短縮することにより、市民生活の利便性の向上及び都市と農村交流の活性化による観光交流人口の増加を図るものとする。

また、農林業を振興するために中山間地域等直接支払交付金を活用し、耕作放棄地の解消、及び適切な除・間伐の推進と植林を進める。その他に、定住促進の施策として、地域住民が快適な生活を送れるように住宅環境を整備し、U・I・Jターナー等々の受入れのために良好で高品質な宅地の確保、供給を行う。

本計画は、前に説明した道整備交付金を活用する事業、及びその他の関連事業を併せて実施することにより、豊後大野市「歴史」と「観光」の交流ネットワーク計画を推進し、地域再生を図るものである。

(目標1) 市道、広域農道、基幹林道、県道の整備による大分市からの時間短縮
(大分市から三重町へのアクセス時間を約15分間短縮する。)

(目標2) 観光客の増加(本市への年間観光入れ込み客数の10%増)

(目標3) 過疎化対策としての定住促進
(豊後大野市三重町の人口を平成17年度並の水準で維持する。)

5 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

大分市、臼杵市と本市を結ぶ「広域農道大野南部地区」と国道10号より犬飼バイパスで接続している「広域農道大野川中流地区」と連絡道である「市道中原河屋線」、「市道南部幹線」の整備及びH19供用予定の中九州横断道路千歳ICと県道三重新殿線BPを結ぶ「市道大原三重ノ原線」の整備を一体的に進め、大野川流域で行われるイベントの犬飼名物どんこ釣り大会、名水白山川ホタル祭り、井崎川川遊びフェスタ、沈墮の滝雪舟祭り、師田原湖面火祭り等また、彫塑家である朝倉文夫記念館、神角寺、用作公園、えぼし公園、御嶽山自然公園、稲積水中鍾乳洞、内山観音、大辻アジサイ公園、リバーパーク犬飼、犬飼石仏といった点在するイベント・観光拠点施設等を直線的に結ぶ観光ルートを構築することに加え、「基幹林道三国灰立線」を集中的に整備することにより、森林へのアクセスを確保し、森林整備のための基盤整備を図る。

(5-2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。
なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・市道；道路法に規定する市道に平成17年3月31日に認定済み。
- ・広域農道；事業計画については土地改良法の手続きを行い、大野南部地区は

平成 11 年 8 月 18 日、大野川中流 2 期地区は平成 13 年 9 月 25 日に確定している。

- ・ 林 道；森林法による大分中部地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載。

[施設の種類の種類（事業の区域）、事業主体]

- ・ 市 道（豊後大野市） 豊後大野市
- ・ 広域農道（豊後大野市、臼杵市野津町）大分県
- ・ 林 道（豊後大野市） 大分県

[事業期間]

- ・ 市道（平成 18 ～ 22 年度）、広域農道（平成 18 ～ 22 年度）、林道（平成 18 ～ 22 年度）

[整備量及び事業費]

- ・ 市道 10.80 km、広域農道 5.74 km、林道 6.30 km
- ・ 総事業費 5,781,120 千円（うち交付金 2,890,560 千円）
（内訳）市 道 1,720,000 千円（うち交付金 860,000 千円）
広域農道 2,911,120 千円（うち交付金 1,455,560 千円）
林 道 1,150,000 千円（うち交付金 575,000 千円）

（ 5 - 3 ）その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、豊後大野「歴史」と「観光」の交流ネットワーク計画を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

工場適地や情報通信基盤等の整備に努め、本市の特性にあった環境共生型企業の誘致を推進し、雇用の場を創る。

多様な居住のニーズに応え、暮らしやすい快適な生活が送れるように、良質で魅力ある公営住宅団地の整備・充実に努めます。また、高齢者や障害者にやさしい住宅環境の整備、定住促進やU・J・Iターン者等の受入れのために良好で高品質な宅地の確保、供給を創る。

耕作放棄地の復旧を内容とする集落協定を結び、「中山間地域等直接支払交付金」を活用する。

適切な除・間伐の推進と植林を進め、健全な森林を育成するとともに機械化を促進し、林業生産基盤の整備を創る。

河川環境の保全と整備を創り、漁協等の関係機関との連携を強化し、アユ、

エノ八等の稚魚放流の推進による内水面漁業の振興を図る。

農村の地域資源を活用した農作業体験や農村での滞在等を通じて交流人口の増加を図り、農家所得の向上をめざします。体験農園や農家民泊、貸農園、農村留学等への取り組みを検討し、都市と農村の交流を促進する。

第63回（平成20年）大分国体で4競技（剣道、ソフトボール、カヌー、馬術）の開催が決定され、生涯スポーツの振興等の将来のまちづくりに資するよう図る。

6 計画期間

平成18年度～平成22年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握・公表する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし。